

沖縄県 恩納村文化情報センター

基本データ

所在地	沖縄県恩納村字仲泊 1656-8
職員数	7人
うち司書数	6人
蔵書数	80,080冊
利用登録者数	9,475人
年間貸出冊数	132,602冊 (児童用図書貸出数 45,558冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】様々な利用者へのサービスの充実

【活動のねらい】

- 村外在住者への貸出、ホテルのミニライブラリーの取り組みは、村外在住者に限らず、幅広い利用者に所蔵資料を通じた情報の提供・発信を行うことで、村の主力産業である「観光」に資する。
- ボランティアや各機関の事業を活用し、外国語でのおはなし会の機会を設けることで、外国語や文化への興味・関心を促すと共に外国人利用者のセンター利用を促している。
- 洋書を登録し、多様な言語の資料をそろえ、在留する外国人にも貸出を促す。

取組・活動の概要

(1) 村外在住者への本の貸出

- 観光客等、村外在住者にも貸出を行っている。村内在住者と同様に、住所確認できるもの（免許証、保険証等）を持って来館すれば、村外在住者も利用カードを作ることができる。
- 貸出冊数は5冊、貸出期間は2週間。CDやDVD等の視聴覚資料は貸出できないが、利用カードを持っていれば、館内のブースで視聴する事ができる。
- 資料は、カウンターでの返却、閉館中のポスト返却、郵送での返却を行うことができる。

(2) ホテルのミニライブラリー

- 村内のホテル数箇所に、一定期間（半年～1年程）、50冊程度の本の貸出を行っている。
- 沖縄の魅力を発信できるような郷土本を中心に選書を行っているが、各ホテルのミニライブラリー設置場所によって利用層が異なるため、職員が現地の設置場所を見に行ったり、資料の貸出を受けるため来館したホテル職員に利用層等の詳細を尋ねたりしながら選書のアドバイスを行っている。
- 例えば、ホテルのレストランの近くにミニライブラリーが設置されている場合は、親子での利用を考えて手軽に楽しめる写真集や絵本等を

入れる。VIPラウンジに設置されている場合は、長期滞在者が多い事を踏まえて、読み物等を選書に加えるなど。

- 半年～1年に1回、センターからホテルへ連絡をとり、本の入れ替えを提案したり、ミニライブラリーの様子を確認したりしている。



ホテルのミニライブラリー

(3) おはなし会

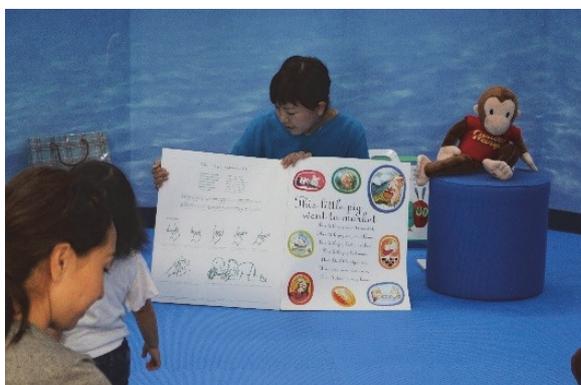
- ボランティアや各機関の事業を活用し、外国語でのおはなし会を開催。

【開催概要】

- JICA 図書資料室主催「おはなし会スタンプラリー」に参加し、ボランティアによるスペイン語おはなし会（H30年3月）。
- ボランティアによる英語おはなし会（H30年4月）。
- JICA 図書資料室主催「おはなし会スタンプラリー」に参加しボランティアによる英語おはなし会（赤ちゃん向け）（H30年12月）。



英語のおはなし会



赤ちゃん向け英語のおはなし会

(4) 洋書の登録

- 洋書の絵本、児童書を525冊（2019年12月8日現在）登録し、貸出している。

取組・活動の工夫や特徴

(1) 村外在住者への本の貸出

- 1階の観光情報フロアにて、観光客向けの利用案内を配布している。

(2) ホテルのミニライブラリー

- 選書やレイアウトのアドバイスをを行っている。

(3) おはなし会

- 村内のボランティアを活用し、実施している。

(4) 洋書の登録

- 寄贈や購入による洋書資料を登録し、貸出している。英語の資料が多かったが、中国語等、利用者にあわせてその他の言語の資料も少しずつ増やしている。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 村外在住者への本の貸出

- 利用者の声コーナーを常設し、村外の利用者に対するサービスの充実に努めている。実際に行ったサービスとしては、旅行中の観光客からのレファレンス対応や自由研究に使う本、読書用の本の貸出等、多数の例がある。

(2) ホテルのミニライブラリー

- ホテルの方が来館された際に、ミニライブラリー利用者からの声を伺うこともある。また、ホテルコンシェルジュの紹介でセンターへ来館した利用者もいた。

(3) おはなし会

- 毎回、アンケートを実施し、おはなし会の成果を確認している。